

2009年8月11日
株式会社トクヤマ

マレーシアにおける多結晶シリコンプラント建設決定のお知らせ 約650億円を投資し、太陽電池向けの多結晶シリコンを量産

株式会社トクヤマ（以下トクヤマ）は、マレーシア、サラワク州に太陽電池向け多結晶シリコンの新設プラントを建設することを決定した。

この新設プラントは、マレーシア、サラワク州のサマラジュ工業団地内に建設する。2011年初頭に着工し、2013年春に運転を開始する予定。製造能力は年産6,000トン、製造技術はジーメンズ法で、当面太陽電池向けの多結晶シリコンを製造する。プラント建設費は約650億円。

また、これに先立ち多結晶シリコンを製造・販売するための新会社「TOKUYAMA MALAYSIA SDN. BHD.」を本年8月、現地に設立する。新会社に関わる雇用数は、操業開始時に約300名で、現地採用は約280名の予定。

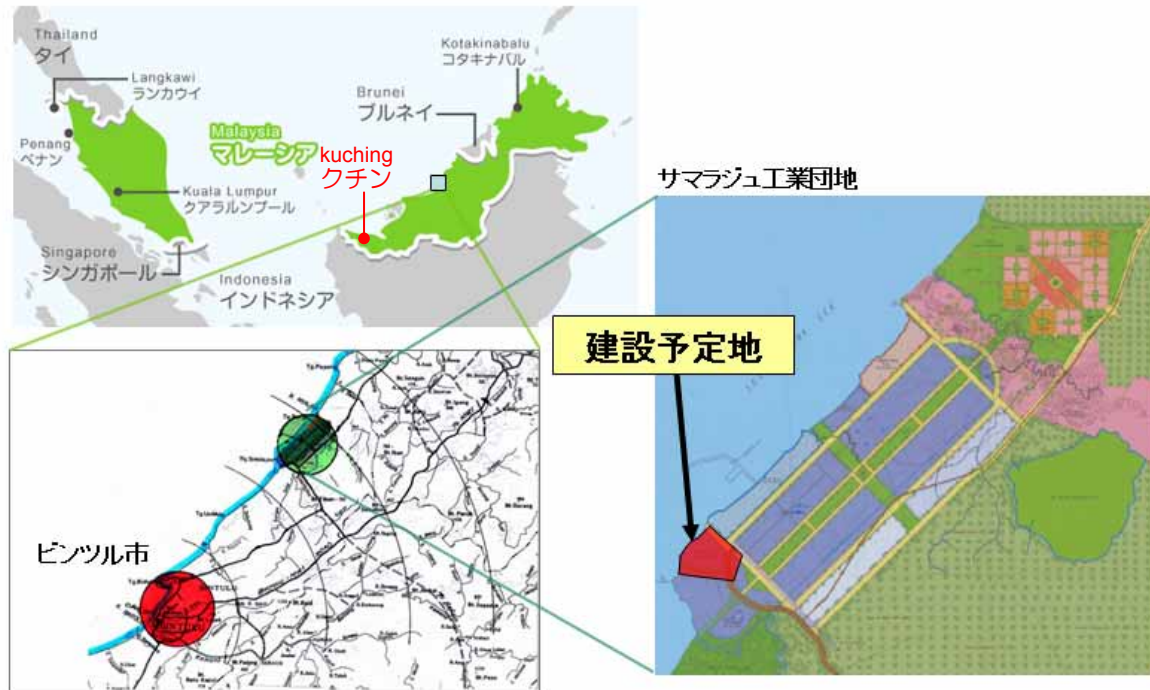
太陽電池向け多結晶シリコンの需要は、米国の金融不安に端を発した世界的な景気後退の影響で一時的に需給が緩和しているものの、中長期的には高い成長が予想されている。

トクヤマは、これまで半導体向けを中心に多結晶シリコンの製造・販売をしており、製造拠点は徳山製造所（山口県周南市）の一拠点のみであった。リスク分散の面からも第二製造拠点の選考を進め、昨年11月、サマラジュ工業団地を第二製造拠点の候補地に選定した。サマラジュ工業団地選定の理由は、多結晶シリコンの製造に必要な大量の電力、工業用水などの資源や良質な労働力が確保できることに加え、連邦政府・州政府による税制面の優遇策や許認可における協力が得られる点を評価したもの。その後、プラントの基本設計を行うとともに、将来の需給動向などの検討を重ね、今回の決定に至った。

トクヤマは、「創立100周年ビジョン」において多結晶シリコン事業を戦略的成長事業と位置づけ、積極的に事業拡大を図っている。徳山製造所とマレーシアの二拠点で多結晶シリコンを量産することで、既存顧客に加え、新規顧客獲得に注力し、業界における存在感の維持を図る。

[第二製造拠点の概要]

場 所 マレーシア、サラワク州ビンツル市から北東50kmのサマラジュ工業団地
敷地面積 約200haの予定（約200万平方メートル）



[新設プラントの概要]

製造能力 年産6,000トン
製造技術 ジーメンス法
用 途 太陽電池向け
建設計画 2011年初頭より建設を開始し、2013年春より運転を開始する
主な建設会社 千代田化工建設株式会社
プラント建設費 約650億円

[新会社の概要]

社 名 TOKUYAMA MALAYSIA SDN. BHD.
設立年月 2009年8月
本社所在地 クチン（サラワク州の州都）

本件に関するお問い合わせ先
株式会社トクヤマ 広報・IRグループ
TEL 03-3499-8023